

日本語学・日本語教育研究グループ

～ 多様な社会を支える日本語学と日本語教育研究を目指して ～

- (A) 学術面：国際的な学習・使用環境における日本語の諸問題を明らかにし，日本語の包括的な研究を行う。*keywords*: 現代日本語，日本語史，日本語教育，国語教育，対照分析，語用論 *etc...*
- (B) 社会面：日本語学と日本語教育の相互補完（日本語学で得られた知見を日本語教育に応用，日本語教育で得られた知見を日本語学に還元）を実現するプラットフォームとして，中心的な役割を果たす。⇒ 国際化する地域社会への貢献

埼玉大学

国内の大学
(主に埼玉県内)

国内の日本語教育機関
(主に埼玉県内)

国外の大学

さいたま言語研究会

(2016年設立，現在会員90名，<http://saitamagengoken.sakura.ne.jp/home/>)

- ① 研究大会の開催（年1回 / 毎年12月初旬）
- ② 研究会誌『さいたま言語研究』の刊行（年1回 / 毎年3月末）
- ③ 学生有志による勉強会の開催（不定期 / 月に1~2回程度）
- ④ 埼玉県内の他大学等の研究者との協力体制の構築
- ⑤ 埼玉県内の日本語教育の現場（専門学校や日本語学校）との学術的ネットワークの構築
- ⑥ 国外の大学との学術交流の定常化